

花粉症でお悩みの皆様に…

首都圏公明議員が 花粉対策サミット

今や、花粉症は国民的アレルギー病とも言われ、多くの人を悩ませています。この花粉症対策として、原因となるスギ林を無花粉や少花粉のスギに植え替えたり、広葉樹に変える花粉対策が首都圏でも始まっています。

四月初旬には公明党の首都圏八都県の議員代表が集い、「公明党首都圏花粉対策サミット」を開催、私も埼玉代表として参加しました。

具体的には、国が提唱している目標が、各都県で共有されていない現状や、コスト高で伐採が進まないことなど、多くの課題が確認されました。

今後は、各県の共同プロジェクトが結成され、私もその一員として取り組んでいくことになりました。

スギ林の間伐状況を視察 花粉対策には 林業再生が不可欠

花粉症首都圏サミットを受け、五月初旬に県議会公明党として、埼玉県飯能市内のスギ林の間伐状況を現地視察してきました。

視察地は飯能駅から車で十分ほどの民有林。県の補助事業として樹齢四十年前後のスギ林が約四〇%の割合で「強間伐」されています。



問題は伐採されたスギ材がうまく流通するかどうかです。利益が出なければ山主さんはスギを切りません。そうすると、無花粉スギへの植え替えは進みません。

花粉対策を進めるには、作業道整備をはじめ、スギ材の需要喚起や安定供給体制の確立など、林業の条件整備が不可欠であると痛感しました。花粉症に悩む皆さん、林業を応援しましょう！



不幸な犬猫を救おう

動物と共生!!



県議会に動物 議連が発足

不幸な犬猫を少しでも救おう。二月県議会中に、超党派による「動物と共生する社会を推進する議員連盟（略称・動物議連）」が発足しました。

今回、志を同じくする議員と協力し、議連発足を訴えたところ、県議会九十二人の議員のうち、四十五名が参加する「動物議連」をスタートすることができました（不肖私が幹事長に指名されました）。



愛犬家の幹事長です。

早速、六月議会では勉強会や県の動物指導センターへの視察を行うことになっています。

処分三割減←半減 県計画を修正

県は今後十年間で、犬猫の殺処分数を半減させる目標を決めました。〇八年度からスタートする県動物愛護推進計画に盛り込まれました。



当初は三割削減でしたが、県議会や県民から寄せられた「削減目標をもっと高くすべき」との意見を踏まえ、より高い数値目標に変更されました。

